

シンポジウム

文化財を守り、未来へ伝えるために

— 「中院一品記」修理事業から —

・日 時・

2015年9月20日（日）13:00～16:30

・会 場・

大和文華館講堂

※シンポジウムの参加は無料ですが、入館料が必要です。
※入館料：一般620円、高校・大学生410円、小学・中学生無料

- ・主 催・ 東京大学史料編纂所・大和文華館
- ・後 援・ 奈良国立博物館・日本大学芸術学部写真学科高橋研究室・(株)文化財保存・(株)便利堂
科学研究費基盤研究(A)「歴史的文字に関する経験知の共有資源化と多角的分析のための人文・
情報学融合研究」(代表 馬場 基 奈良文化財研究所主任研究員)

・プログラム・

13:00～13:10 挨拶・趣旨説明

13:10～14:10 I. 基調講演

「中院通冬とその時代—「中院一品記」の世界—」

森 茂暁 (福岡大学人文学部教授)

14:20～14:35 II. 報 告

①「中院一品記修理の概要と史料展示」

井上 聡 (東京大学史料編纂所助教)

14:35～15:05

②「日記料紙の分析と復元的研究」

高島 晶彦 (東京大学史料編纂所技術専門職員・修理担当)

15:05～15:35

③「中世公家社会における筆法の復元的研究」

和田 幸大 (東京大学史料編纂所技術専門職員・影写担当)

15:45～16:30 III. シンポジウム

「修理から見えてくるもの」

司会：尾上 陽介 (東京大学史料編纂所准教授)

パネリスト：森 茂暁・井上 聡・古川 攝一 (大和文華館)・

馬場 基 (奈良文化財研究所)・辰巳 大輔 (㈱文化財保存)

16:30

閉会の辞

■お問い合わせ

大和文華館

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL(0742)45-0544

アクセス：近鉄奈良線〈学園前駅〉下車 徒歩約7分
駐車場(無料)あり

展 覧 会

2015年
8月21日～10月4日

〈特別企画展〉

中世の人と美術

